



熊野觀心十界曼茶羅(西大寺所蔵)

## 楽しい行事

7月20日(土) 夜待まつり(額あんどん奉納・会陽太鼓・花火の打上げ)

8月17日(土) 水まつり ご先祖供養(塔婆供養・灯ろう流し)



岡山市東区西大寺中3-8  
TEL(086)942-2058  
観音会広報委員会発行  
平成25年7月15日

題字カット 木村喬生

## 心の十界

住職 坪井全広

昔は、どの家庭でもお祖父さん、お祖母さん、或いはご両親から様々な不思議な話を聞かされたのではありませんか。夜に爪を切ると親の死に目に合えます。かくして、夜に口笛を吹くと蛇が出るとか…。こんな戒め(今思ひます)で報じてきました。意外な事に購入層は子育て中の若いお母さんだそうです。テレビでは超科学的なSFアニメを。玩具店の餓鬼の絵解きに耳を傾けるのでしょうか。

近年地獄とか餓鬼を扱った絵本が静かなブームだとテレビで遊んだ後は、お母さんの地獄で遊んだそうです。テレビでは超科学的なSFアニメを。玩具店の餓鬼の絵解きに耳を傾けるのでしょうか。

十年前ほど前、当寺で大変貴重な「熊野觀心十界曼茶羅」が発見されました。この曼茶羅は中世から江戸期に、熊野勧進比丘尼、絵解き比丘尼とも呼ばれる日本各地に伝播行脚する際の布集団が、旗を背負い網代笠で鉢を打ち鳴らしながら熊野信仰を

説いています。曼茶羅には「心」の字を中心として上部には放長・頂点・老衰の様子が、また下部には地獄界から菩薩界に至るまでの十界が、平易に図説されています。子供は親の背中を見て育つ事は等しく認める所ですが、ある調査によると、自信をもつて心の問題は複雑で糸口が見えず、社会も深刻です。こうした折、子供の頃に聞いた戒めや、地獄餓鬼を伝える親は年々減少しています。中でも心の問題は複雑で糸口が見えず、社会も深刻です。たゞ、今は生きる智慧です。過去も現在も、そして未来も全て心の問題にかかります。古い昔話で云ふと、心を込めてご供養しましょ。親しまれる、勸善懲惡の「心のいれ」といいます。今後とも一層のお力添え程お願い申しあげます。

## 宮宅比佐恵

十年前、あるお上人から聴いたお話を。ご自分の経営なさっている施設へ預かつていた方が危篤状態になられ、連絡したが誰もおみえにならず、寂しく亡くなられお葬式にもみえずお上人一人でお弔いなさり、その後、預金通帳があつて連絡したらすぐ来られたそうです。傍い寂しさを感じました。

又、あるお宅の四十九日法事の依頼を受けお上人が行かれたる、祭壇もなく親戚の人もみえず、ご主人がお仏壇の前でお経だけあげてくれと言われ、一応お経あげて供養の話をして帰らっていたら、後日、親戚からの電話もあって改めて四十九日をなさつたそうです。仏さまもお喜びのことでしょう。

又、ある方は法事当日に「年寄りが居るから頼む」と、主役の主人は友人と約束で出かけられたとか、それぞれ事情もあ

りみんなで出来ない時もありました。温かい心は変わらぬよう日常生活中で自然に子や孫に伝えたいと思います。

後からになりましたが、私は毎月十七日の縁日を楽しみにしてお参りし、「ゴマ木へ心から家族の健康、安全のお願いを書きご祈念して頂き心安らぐ日々を過ごさせて頂いています。

合掌

## 人生三度の顔

河本富夫

今年三月最も親しくしていた友人がなくなりました。葬儀に参列し住職さんの読経のあと、柩の中の顔と最期の対面をしました。それは白い花に囲まれただやかな顔でした。顔のしわには八十数年生きてきたしるしが

一回目は「おぎやあ」と生まれた時、この時には家族や濃い親戚の人が顔を見に来ます。生まれたての赤ちゃんの顔を見ると思わず笑みがこぼれます。これは自分の顔ではありません。それはご先祖さまから頂いた顔だそうです。

二回目は結婚式の時、この時は花嫁は勿論花嫁は一生の中で一番美しい顔をしています。式に招待された多くの知人友人に祝福されて顔を見てもらいます。しかしこれも飾りたてた顔で本当の顔ではありません。三回目はその長い一生を終えた。それは白い花に囲まれただやかな顔でした。棺の中に入った時の顔です。この世に生まれてきて、生活のため、家族のため一生懸命働き、そして子孫を残してきた顔がそこにあります。これが本当にその人の顔だそうです。

亡き友のまだ断ちきれぬ心の絆

## 編集後記

初めて本誌の編集委員会に出席させていただき、あらため季節の移り変わりの速さに気づかれております。

院内世話役を仰せつかることになり、この半年間に多くの初体験をさせていただくことができました。会陽離とさせ諸行事の中、新たな取り組みとして、寒中での「垢離」と水行にも参加し「裸」とは一味違う「垢離」と「水行」が行なわれました。また、春には百八観音靈場開創が行われ、平日にもかかわらず遠方からも大勢の方々にご参拝いただき、観音信仰の深さを感じさせられました。

さて、季節は夏であります。西大寺の夏と言えば、「夜待ち祭り」そして「水祭り」であります。ご家族揃って、西大寺観音院へおこしください。(Y.O)

## 楽しい奉仕あれこれ

冬 冬葉うど木落う木書り等  
春 春葉う木落う木書り等  
夏 夏葉う木落う木書り等  
秋 秋葉う木落う木書り等  
TEL 942-2058 観音院

